

## 追加 3. 委員提案

プロポーザル関係資料について（提案）

平成 25 年 5 月 20 日

提案者 岡野 三之

猪狩 晃一

佐藤 昭一

### 1. 特記仕様書について

a) P2/9（会議資料通しP2）「3. 業務内容」→「(1)基本計画」→①  
②を以下のとおり修正する。

①原 案：H23提言書の概算事業費の検証について  
ライフサイクルコスト等を考慮し検証する。

修正案：H23提言書の概算事業費の検証について  
ライフサイクルコスト等を考慮し検証する。

**その際、新築棟は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「新  
営予算単価H25年版」を基本とし検証する**

理 由：事業費算定基準を示し事業者検証のばらつきを最小化する。  
当単価は、設計者が仕様を想定するだけで簡単に建物単価  
が算出できるシステムである。図面作成や積算技術者の協  
力は不要で、しかも高精度な建物単価が設計初期段階で算  
出可能である。  
また、下記の「c) 概算工事費算出」との整合を図る。

②原 案：調査及び計画策定等の業務（整備手法は「減築+新築」を想  
定。）

修正案：調査及び計画策定等の業務

**整備手法は、H23提言書の「減築+新築」を想定するも  
のとする。**

**なお、H23提言書では、新築棟を先行して建築し、新築  
棟に現庁舎の概ねの機能を移転後、現庁舎の減築改修を行う  
予定としている。減築改修棟は、会議室・倉庫・書庫等を主  
体とした用途にすることにより、最小限の改修に止めること  
としていることに留意すること。**

理 由：改修事業費に関しては、グレードによって差異が大きいので、  
提言書の考えを明確に伝えるため。

## 追加 3. 委員提案

- b) P3/9 (会議資料通しP3) 「3. 業務内容」 → 「(1)基本計画」 →  
②のコ) 及びサ) を以下のとおり追記修正等する。

原 案：コ) 建物長寿命化の検討  
サ) 経済性の検討

修正案：コ) 建物長寿命化 **及び経済性の検討。ただし、減築改修棟  
については、特別な長寿命化の手当てをする必要はない。  
サ) 経済性の検討** を削除する。

理 由：減築改修案については、H23提言書で最小限の改修として  
いるので、その意図を設計者に伝える。

また、経済性の検討は、長寿命化の検討の中で当然行われる  
と思われるが、長寿命化だけの表現ではコストとの比較が疎  
かになる可能性があるので併記はしておく。

原 案：~~サ) 経済性の検討~~ の削除に替え

修正案：**サ) 維持管理計画** を追加する。

理 由：ライフサイクルコスト検討と維持管理計画は一体のもので  
ある。特に技術革新が著しい設備の維持管理計画は重要で  
ある。

- c) P3/9 (会議資料通しP3) 「3. 業務内容」 → 「(1)基本計画」 →  
②のソ) を以下のとおり追記修正する。

原 案：概算工事費の算定

修正案：概算工事費の算定

**なお、算定方法について、新築棟は、国土交通省大臣官房  
官庁営繕部の「新営予算単価」を基本とし、改修棟は別途  
協議し決定することとする。**

理 由：基本計画時の事業費算定の方法をある程度は示しておく必  
要があると考える。なお、改修事業費の算定は、本プロポー  
ザルの課題Aによることとなる。

## 2. 実施要領

- a) P5/5 (会議資料通しP15) 「10. 手続き等」 → 「(2)各種関係資料  
の交付」の「掲載資料」に、**平成20～21年度に策定した「庁舎  
改修計画策定業務委託」の成果品を追加する。**

理 由：当該委託では、現庁舎の劣化度状況調査及び改修に係る概  
算事業費の算定が行われている。

今回の計画策定等あたっては、これらの資料も活用して進  
める必要があるので、予め示しておくため。 以 上